

オオヤマサギソウ *Platanthera sachalinensis* F.Schmidt

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 3、固有性階級 1、総点 12。山地性のラン科植物で、愛知県では個体数が少ない。

【形態】

多年生草本。根はやや肥厚する。茎は直立し、僅かに稜があり、高さ 40~60cm になる。葉は互生し、通常 2 個が大きく、葉身は倒卵状長楕円形、長さ 10~20cm、幅 4~7cm、先端は鈍頭、基部は次第に細まり、葉鞘となる。上部の葉は急激に小さくなり、鱗片葉となる。花期は 7~8 月、花は茎の上部の穂状花序に多数がやや密につき、緑白色、苞は線状披針形で花よりやや長い。背がく片は卵形、長さ 3~3.5mm、先端は鈍頭、側がく片は斜卵形、長さ 4~5mm、側花弁は長さ約 3mm である。唇弁は広線形、長さ 5~7mm、距は細く、長さ 15~20mm、湾曲して下垂する。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (小林 38871, 1992-8-22)、4 津具 (小林 45479, 1993-7-18)、6 設楽西部 (小林 45806, 1993-8-1)。西：5 稲武 (塚本威彦 2683, 1998-7-18)、20 足助 (山崎玲子 2196, 2000-7-20)。

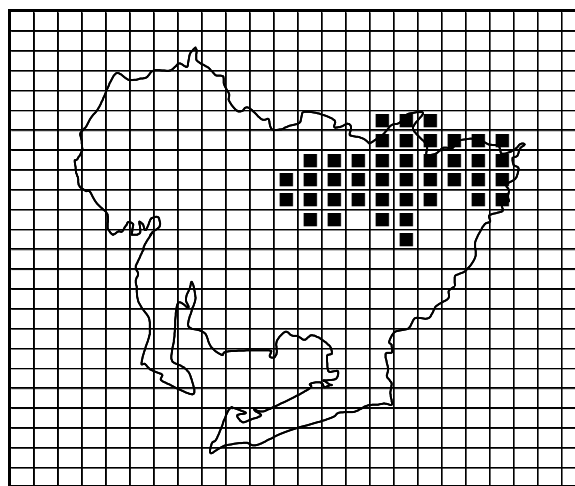
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】

千島列島南部、サハリン、日本。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の林内や湿地に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩				
湿地	○			
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

点在するが、どの場所でも個体数は少ない。山間部の湿地の開発や遷移の進行により減少している。それほど花の目立つ植物ではないが、それでもラン科ということではしばしば持ち去られる。

【保全上の留意点】

山間部の小湿地を保全することが必要である。園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【関連文献】

保草本III p.20, 平草本 I p.197, 平新版 1 p.223.